

未来のまちづくりを共に考える

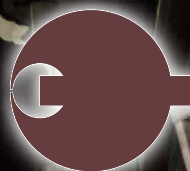
# 大宮通り ジャーナル

OMIYA STREET JOURNAL

夏号(第16号) 2022年8月発行

NARA PREFECTURE

奈良県



二月堂

巻頭インタビュー

華嚴宗大本山 東大寺 第224世別当(住職) 橋村 公英 さん

## 奈良の生きた伝統文化を 次世代へと繋いでいく東大寺の思い

## 奈良の生きた伝統文化 を次世代へと繋いで いく東大寺の思い

華嚴宗大本山 東大寺 第224世別当(住職)

はしむら こうえい  
**橋村 公英**さん

2022年4月1日、4年間の任期で華嚴宗管長・東大寺第224世別当に就任した橋村公英さん。5月30日の晋山式を終えた橋村さんに新別当としての抱負や修二会(お水取り)をはじめとした東大寺に受け継がれている伝統行事とこれからの地域の人々との関わり方について伺いました。



東大寺 第224世別当 橋村 公英 さん

### 第224世別当として 大事にしたいこと

長らくこの地で暮らしています。小学生の頃、市内循環バスに乗って今の太極宮通りから昔の国鉄の方へ一周するのが好きでした。また、燈籠に書かれた人物名を見て、江戸時代の奈良を想像して楽しみました。昭和40年頃、阪奈道路と繋がった太極宮通りは、大阪と繋がっている道だと思えます。大阪は、江戸時代の奈良の復興にとっても影響力があったところ。大阪の安治川河口近くに、中州のようなところがあり、「大仏島」(現在の富島)と名付けられて、そこが江戸時代の大仏様復興の西の拠点だったのです。最近では、太極宮通りが奈良と大阪を繋ぐ大動脈の役割を担っていると思えます。

4月1日に別当に就任してから、抱負や気持ちは少しずつ変わってきています。来年は、奈良時代に東大寺の初代別当になられた良弁僧正1250年御遠忌があります。良弁僧正から数えて224代目の別当になります。

奈良時代からの長い歴史は、個々

の人の歴史だけではなく、東大寺の歴史でもあり、日本の歴史でもあります。そのことに感慨を覚えますね。長い時代を通して、東大寺には「大仏様」「修二会(お水取り)」「華嚴宗を中心とした教え(教)」「の3つが一緒にあります。その3つが、東大寺にとっては、基本になり、大事にしていかなければならないことだと強く思います。

東大寺の歴史は伽藍盛衰の歴史とも言えます。伽藍がある故に、維持していかなければならない。その労力は半端なものではありません。発掘をして史跡整備をする際に、七堂伽藍がイメージできる



発掘調査で検出した東塔の様子(北東から)  
東大寺にはかつて大仏殿の東西に2基の巨大な七重塔がそびえていた。現在、東塔院跡地区では奈良時代の建物基壇の復元整備を行っている。(写真提供:東大寺)



二月堂(国宝)

古都に春を呼ぶ「お水取り」の名で知られる修二会。二月堂の名は、このお堂で修二会が旧暦の2月に行なわれることから起っている。

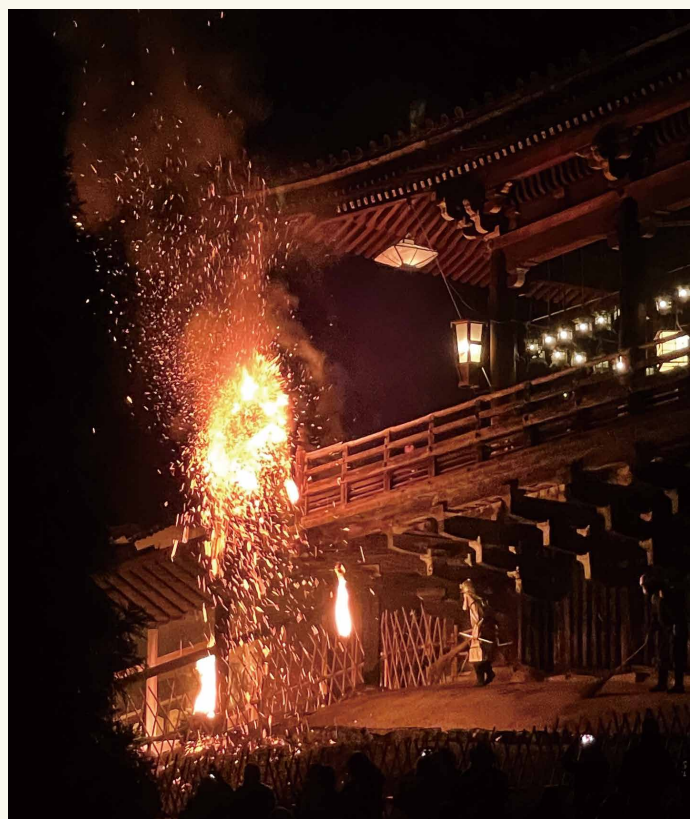
ような整備が将来に繋がっていくのではないかと思います。お堂が沢山あっても、それを支える教えに関わり、教えを実際に生きている人がいなければ、形だけの建物が伝わっていることになってしまいます。

い歴史の中で見ると、生きた形で次の時代に伝えていくという姿勢が、基本的なものとして必要だと思います。

晋山式の時にも言いましたが、教えの部分は理の部分。歌で言えば歌詞に当たる部分です。建物や目に見える修二会などの伝統行事、修行など身体で表現するものは、メロディみたいなもの。両方とも大切で、両方ともがうまく働き合えば、歌になりますよね。そういうことを理想として、進んでいけたら嬉しいなと思います。

### 途絶えず修二会を続けていくために

大仏殿が戦で被災したり、二月堂が火災に遭ったりした時でも、練行衆が力を出し合い最後の満行まで尽力したことは、よく言われます。ですが、修二会をどれほど知っていても、それは知識。実際に稽古をして、生活をして、行をして、その文化(修二会)を担っている人が実際にこの時間を生きていこうという意思を持って生きなければ文化は続きません。修二会を担ってきた人々のその



修二会お松明

お松明は、二月堂に上堂する練行衆の道明かりとして灯される。修二会期間中の3月1日~14日に毎日あげられている。(写真提供:東大寺)

意志が1271年間続いてきたことが、修二会の価値ではないかと思えます。

2年続いたコロナ禍で、一つ一つの感染のリスクを減らして、満行できる形を作れるかが一番の問題でした。実は、コロナがきっかけで気付いたことがあります。修二会には、どのような由来でおこなわれているのか、現在は分からないけれど、決められたルールがあり、例えば、「差懸」という木製の履物に触った時などには、必ず抹香を手で擦ります。汚れたものに触れた時、抹香だらけの手で、鼻や口や目とか触らないでしよう? 所作

を通して、病原菌などから、身体をガードするための古い時代より続く智慧なのかなと思えましたね。

### 「善友」であって欲しい

近年、伝統行事と奈良に暮らす人々との結びつきがだいぶ変わってきた実感があります。例えば、仏教をベースとした地元ネットワーカー的な集まりである「講」。1年を通じて、地元の人々が奉納行事や法要などを支えてきた歴史が残っていますが、コロナが時代を随分と進めてしまったと思います。寺社で今までできたことが、続けにくくなってきたのをどういう

形で補っていか。何か代わるものがあつたらいいのか、それを蘇らせる工夫ができるのか。可能であれば、実際に対面できる地元の人々とこれからのこととして、新たな関係性を築いていけたらと思います。今どきのネットワークやデジタル的なものなど、実際に使えるものは使いながら、次に来る形を模索していかなければ。その中で、問題が出てきた場合、その問題は宝物。問題が出てくるからこそ、どうしたらいいのかを突き詰め、そもそも何が問題なのか明らかにっていくのです。

華嚴経の道(教え)を訪ねる善財

童子の物語では、教えの上で導きとなってくれる人、一緒に歩んでくれる人のことを「善友<sup>ぜんぬ</sup>」といいます。

でも、実際の人間関係では、対立したり、恨んだり、憎しみを持ったり色々な問題が起こります。様々なやりとりの中で、対立しながらも理解できた時は、悪い関係であったものが「善友」の関係になる瞬間です。そうなったら、過去の対立の意味が変わりますよね。皆、善友であつて欲しいなと思います。

### 手を合わせることを通して

誰もが同じである必要はないのですが、少しでも共に関われる道と一緒に進んでいけたらと思います。例えば、多くの方が大仏様の前で手を合わせますね。すべての方が仏教の教えに関心を持つわけでは無いかもしれませんが、手を合わせることを通して、その時間を生きておられるわけです。神仏の前で合掌や一礼することは、一緒に自分の時間を生きること。そのような時間を少しでも増やして、(神仏と)一緒にあることの良さをお互い見失わないように。そういう繋がり、意識を持つていただけたら嬉しいなと思います。

## 万灯供養会／東大寺大仏殿

東大寺大仏殿では、盂蘭<sup>うらん</sup>盆の最終日、8月15日の19時から21時の間、万灯供養会を厳修いたします。大仏殿の万灯供養会は、お盆に帰省できない方々にもせめて御先祖の供養をしていただけるようにという趣旨で、昭和60年から行っています。

当日は、17時30分から21時までの間ご参拝いただくことができ、大仏殿正面の観相窓<sup>かんそうまど</sup>(棧唐戸)が開いて、普段は大仏殿の中からしか拝見できない大仏さまのお顔を参道から拝むことができます。

本年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、約2500基の灯籠を大仏殿参道などに並べず、開門します。また、8月13日(土)、14日(日)17時30分～21時まで、大仏殿夜間参拝をしています。



万灯供養会(写真提供:東大寺)

開催期間：令和4年8月15日(月)  
 法要時間：19時～21時  
 開催場所：東大寺大仏殿  
 問合せ先：東大寺寺務所  
 ☎074212215511  
 東大寺 で検索  
 祈願の申し込みをされていない方の入堂は有料(中学生以上600円、小学生300円)

# 「なら燈花会」で夏のひと時を 3年ぶりに観客を入れて開催 夏の風物詩が 奈良公園に帰ってきます。

世界遺産の地・奈良に集う人々の様々な祈りとろうそくの灯りが溶け込み、人々の心を感動させてきた「なら燈花会」。新型コロナウィルスの影響を受け、直近2年間はオンラインで開催されていましたが、第24回目の「なら燈花会」は、3年ぶりに有観客で開催されることとなりました。

## 一灯一会。 あの灯りにもう一度。

「なら燈花会」は、「なら燈花会の会」会員や多くの公募サポーターの方をはじめ、地元の方のご協力により、あかりを灯してきました。そして今年も、浮雲園地をはじめとする奈良公園周辺の7会場であかりの火を灯します。期間中は、ご自身の願いを込めて灯すことができます。「一客一燈」も実施されます。なお、協力金と



していただく500円は、来年開催時のろうそく代金となります。また、一昨年より好評の「おうちで燈花会」を今年からお中元セットとして販売を開始しています。今年も、会場で作りの絶景を楽しんでもよし、「おうちで燈花会」であなただけのあかりを灯すのもよし、ろうそくのやさしいあかりで奈良の夏を感じてみませんか。

【奈良公園室】

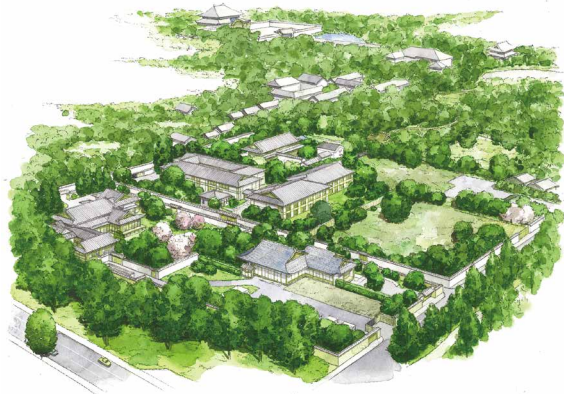
開催期間：令和4年8月5日(金)～8月14日(日)  
点灯時間：18時30分～21時  
開催場所：奈良公園一帯  
問合せ先：NPO法人なら燈花会の会事務局  
☎0742-21-7515  
とうかえで検索  
入場無料

# よしきえん 吉城園の周辺で宿泊施設などの 整備を行っています

## 宿泊施設の開業予定は 令和5年夏！

県庁東側にある吉城園の周辺には旧知事公舎や旧世尊院のほか、県指定文化財の吉城園主棟などが建ち並び、その周りを囲む築地塀と併せて、歴史的景観を楽しめる空間となっています。

そのなかでも、旧知事公舎は、サンフランシスコ講和条約と日米安全保障条約の批准書に昭和天皇が署名された「御認証の間」が当時のまま保存されており、由緒正しき場所です。



吉城園周辺地区(完成イメージ)

そこで、吉城園の周辺地区を世界に誇る奈良公園の一角として、誰もが奈良の文化に触れることのできる品格の高い空間となるよう、平成28年より官民一体となって事業に取りかかりました。

令和4年2月には、宿泊施設・交流施設などの整備に着手し、令和5年夏の開業に向けて工事を進めています。開業に合わせて、「御認証の間」は、一般公開を予定しています。

また、吉城園の庭園は無料開放されており、庭園にある茶室の耐震工事も、現在行っているところです。新しくなる吉城園周辺地区の整備にご期待ください。

【奈良公園室】



旧知事公舎前の門扉と築地塀(完成イメージ)

# 奈良公園の水環境を改善中！

## 鷺池と猿沢池をきれいになります

奈良公園にある鷺池や猿沢池

は、多くの方が訪れる奈良公園の代表的な水辺です。近年、水質悪化により、夏場にアオコや悪臭が発生している状況です。このため奈良公園の水環境の課題を改善し、多くの方楽しんでいただけるよう、様々な取り組みを行っています。

### 令和4年2月に鷺池の「池干し」を実施しました

鷺池では、令和4年2月に、「池干し」を実施しました。池干しは、池の水を全部抜き、池底を天日にさらすことをいい、池底の微生物が活発化し、水質の改善が期待されます。鷺池の池干しは約20年ぶりであり、多くの方が「浮いていない浮見堂」にカメラを向けていました。



浮いていない浮見堂

### 猿沢池に入る水の量を増やします

猿沢池は、上流からの流入水量が少なく、水質悪化の原因となっていることから、流入水量を増やす対策として、奈良国立博物館の井戸水をくみ上げて、猿沢池に流すことを考えています。令和3年度には井戸の改修が完了し、流入量が確保できました。令和4年度はこの水を猿沢池に流すための水路を整備します。

秋頃に導

水試験を実施し、年明けには水路整備に着手します。早ければ令和5年春には、猿沢池に入る水の量が増える予定です。

【奈良公園室】



国土地理院撮影の空中写真（2008年撮影）を加工して作成

# 奈良公園の景観を守るために

## 植栽整備を行っています

### 今年度は、浅茅ヶ原・荒池園地の整備を実施

奈良公園一帯は、

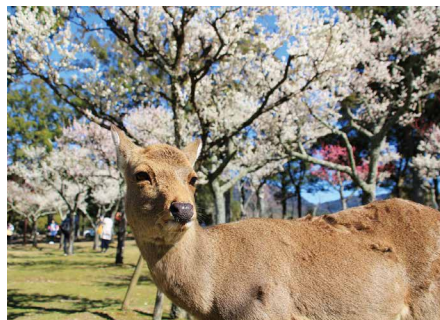
奈良時代より人々の憩いの場、社寺参詣に伴う観光地となっています。その中で、マツやサクラ等が植栽され、広大なエリアに多様な生態系が作られてきました。

明治13年に公園として開設してからは、当初からある樹木を保護しつつ、新たな樹木を加える植栽整備が行われました。大正11年には、「史蹟名勝天然記念物保存法」(後の「文化財保護法」)により、優れた風致景観に贈られる名勝指定を受けています。

令和4年度からは、浅茅ヶ原・荒池園地の



鷺池からの景観(整備後イメージ)



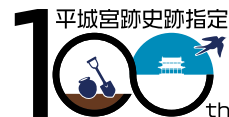
植栽整備を行います。この場所は、春日大社の参道に隣接するエリアですが、明治時代以降に、公園の魅力創出としてサクラやウメが植栽され、現在では景観スポットでもある鷺池・浮見堂が作られたエリアでもありません。鷺池から山々を望む景観を保全するため、順次樹木の整理や花木の生育改善を行っていきます。

【奈良公園室】

# 平城宮跡 史跡指定100周年!

令和4年、記念の年

平城宮跡は、令和4年、国の史跡に指定されて100年となる節目の年を迎えました。



柵田嘉十郎をはじめとする地元・奈良の人たちに守られてきた平城宮跡は、日本の律令国家が形成された奈良時代の政治・文化の中心として多くの重要な遺構が確認されており、学術上きわめて価値の高い文化財として大正11年に国の史跡に、昭和27年に特別史跡に指定され、平成10年には「古都奈良の文化財」の構成資産の一つとして世界遺産に登録されました。



柵田嘉重郎像



朱雀門ひろば

## 平城宮跡歴史公園

奈良県では、平成20年10月の閣議決定に基づき、「古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、平城宮跡の保存と活用を通じて、奈良時代を今に感じる「空間」の創出を目指しています。

平成30年3月24日には、「朱雀門ひろば」等について整備が進んだことから、国営公園区域と共に「平城宮跡歴史公園」として開園を迎えました。

## 大極門(南門) 復原

また、令和4年3月19日には、平城宮跡第一次大極殿院の正門にあたる「大極門(南門)」が復原されました。

門は、間口約22メートル、奥行約9メートル、高さ約20メートルであり、復原工事にあたっては、古代建築の伝統技術を継承し、古来の伝統的な材料、道具、工法が用いられました。



大極門(南門)完成披露式の様子



平城京天平祭の様子

令和4年は、平城宮跡にとって記念の年となりますので、是非皆さままで平城宮跡歴史公園にお越しください!【平城宮跡事業推進室】

## 平城京天平祭(夏・秋)を開催します

平城宮跡・朱雀門ひろばでは、夏の天平祭「天平たなばた祭り」と秋の天平祭「みつきうまし祭り」を今年も開催予定！

### 夏の夜の平城宮跡を光と灯りで彩ります

天平たなばた祭りは8月19日(金)～21日(日)の3日間、「燈花会@朱雀門」や「天平七夕行列」等の恒例のコンテンツのほか、天理市福住から運ばれる「献上氷の再現」や暑さを癒やす「天平かき氷祭り」等様々なコンテンツを実施します。

### 秋の爽りに感謝するみつきうまし祭り

みつきうまし祭りは10月22日(土)、23日(日)の2日間、「衛士隊の再現」や飲食ブースのほか、奈良時代にシルクロードから伝わった漢方をテーマにしたワークショップや、天平衣装体



験等のコンテンツをご用意します。

【平城宮跡事業推進室】



燈花会@朱雀門

## 奈良公園バスターミナルと東大寺に

### 「みんな芸ピアノ」が登場

奈良の秋を彩る

「奈良県みんなでののしむ大芸術祭」を開催します

9月1日(木)～11月30日(水)の期間、「奈良県みんなでののしむ大芸術祭」(みんな芸)を開催します。

期間中、障がいの有無や年齢などにかかわらず、「みんな」が参加し、一緒に「たのしむ」ことのできる芸術文化イベントが県内各地で楽しめます。

イベントの一つとして、「みんな芸ピアノ」と称したストリートピアノを県内各地に展示します。

ピアノのラッピングデザインは、全国の障がいのある人から募集した絵画作品の中から選ばれます。

「みんな芸」の幕開けに合わせて、9月1日(木)～9月30日(金)には奈良公園バスターミナルに、11月5日(土)～11月13日(日)には東大寺東楽門横(要拝観料)に登場！誰でも自由に演奏することができます。

【文化振興課】



開催期間：令和4年9月1日(木)～11月30日(水)

開催場所：奈良公園バスターミナル、東大寺東楽門横ほか県内各地

問合せ先：奈良県みんなでののしむ大芸術祭実行委員会事務局  
☎0742-27-8488

みんな芸 で検索

入場無料(一部有料会場あり)

天平祭 で検索

入場無料(飲食・体験は有料)

☎0742-25-0707

問合せ先：平城京天平祭実行委員会事務局

開催場所：平城宮跡 朱雀門ひろば

時間：10時～16時

開催期間：令和4年10月22日(土)・23日(日)

みつきうまし祭り(平城京天平祭・秋)

時間：16時～21時

開催期間：令和4年8月19日(金)～21日(日)

天平たなばた祭り(平城京天平祭・夏)





# ぐれーとさまあーふえすた☆ならまち遊歩 提灯がならまちを彩る9日間

## 提灯が映える「ならまち」

提灯の優しい灯りでならまちを彩り、まち歩きを楽しんでいただく「ならまち遊歩」が今年も開催されます。

6回目となる今回も、ランドマークの猿沢池やお店の軒先に提灯が灯り、この期間ならではの景色をお楽しみいただけます。

## 「楽しい」、「美味しい」 ならまちの魅力を再発見

ならまち遊歩を満喫できるサービスマン「楽座手形」<sup>らくざてがた</sup>。購入していただいた楽座手形をならまち遊歩に参加する飲食店で提示することで、お得なサービスが受けられます。

また、ならまちについて楽しく学べる「クイズラリー」や毎年好評の「狐面絵付け体験」なども楽座手形でお得に楽しめます。

さらに、茶道や書道など伝統文化を体験できる親子向けイベント



【奈良公園室】

や奈良まほろばソムリエとともにならまちを巡る「ナイトツアー」など、ならまちを満喫できるイベントが盛りだくさんです。

残暑が厳しい時期ですが、駅から少し足を伸ばすと、ならまちにしかない魅力を再発見できますよ。

開催期間：令和4年8月20日(土)

～8月28日(日)～

総合案内所(猿沢インウッドデッキ)

受付時間：平日14時～21時

土日11時～21時

※イベントにより、開催日・時間が異なります

提灯点灯時間：18時30分～21時

開催場所：ならまち帯、もちいどのセンター街、下御門商店街

橋本商親会、猿沢池周辺

会事務局

問合せ先：ならまち遊歩実行委員会事務局

☎0742-93-15250

ならまち遊歩 で検索

参加無料(飲食・一部イベントへの参加は有料)

# 巡り楽しむ1週間「きたまちという」

## 今年で2回目となる 「きたまち」イベント

近鉄奈良駅の北側に広がるエリア「きたまち」において、いろいろな色(魅力)を巡り楽しんでいただくイベント「きたまちという」が、今年で2回目の開催となります。今年は昨年からさらにパワーアップした内容となっています！

## 朝から晩まで「きたまち」 づくしの1週間

「きたまちという」は、きたまちエリアを朝から晩まで一日中満喫していただけるイベントです。

朝は、昨年度大変ご好評いただいた「きたまち朝歩き」。きたまちの歴史的なスポットからあまり知られていない見どころまで、地元の家内役が楽しく案内します。

昼は、昨年度中止となったカレー&スパイス巡り企画「種々カレー帳」や奈良公園バスターミナルにおける出店市「という市」で、きたまちならではの食事・お買い物をお楽しみください。



そして日が暮れると「きたまち宵あかり」。バスターミナル屋上、旧奈良監獄や転害門などきたまち各所で「というランタン」を展示し、きたまちの宵を美しく彩ります。皆さまもぜひきたまちにお越しいただき、いろいろな色を探してみてください。

【奈良公園室】

開催期間：令和4年9月9日(金)

～9月15日(木)～

総合案内所(奈良公園バスターミナル東棟内)

受付時間：10時～18時

※イベントにより、開催日・時間が異なります

問合せ先：きたまちという実行委員会事務局

☎080-11282-19004

きたまちという で検索

参加無料(飲食・一部イベントへの参加は有料)

# 奈良県コンベンションセンターで「光と遊びの天平広場」を開催します

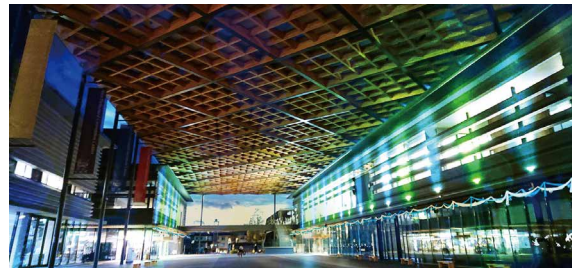
## 樹脂製スケートリンクが登場！

令和4年8月4日(木)～20日(土)、奈良県コンベンションセンター天平広場(屋内多目的広場)にて、期間限定のスケートリンクを設置します。

樹脂製のスケートリンクは夏季でも屋外設置が可能で、夏のスケートをお楽しみいただけます。



「光と遊びの天平広場」スケートリンク (イメージ)



また、季節のイルミネーション、県産品を取り入れたフードイベントなども同時開催し、地域の皆さまと一体となつて観光資源のPRとにぎわい創出

に取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。  
【MICE推進室】

開催期間：令和4年8月4日(木)～20日(土)  
時 間：11時～20時  
開催場所：奈良県コンベンションセンター  
問合せ先：光と遊びの天平広場事務局  
☎070-2395-6032

# 第33回全国「みどりの愛護」のつどいを開催しました

令和4年5月21日(土)、緑の保全育成に携わる方々がつどい、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを呼びかける、第33回全国「みどりの愛護」のつどいを開催しました。

奈良県コンベンションセンターでの式典では、第33回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰及び第33回全国「みどりの愛護」のつどい記念奈良県都市緑化功労者知事表彰などが行われました。

また、本行事は、秋篠宮皇嗣同妃両殿下にオンラインによる御臨席を仰ぎ、式典を御視聴いただくとともに、秋篠宮皇嗣殿下のライブ配信によるおこたばを賜りました。式典後は、受賞者等とオンラインにより御交流されました。

国営平城宮跡歴史公園での記念植樹では、事前に両殿下がナラノヤエザクラを御手植えされた収録映像の上映とともに、表彰受賞団体等が植樹を行いました。

【公園緑地課】



秋篠宮皇嗣殿下のおこたば



記念植樹の様子

写真提供：第33回全国「みどりの愛護」のつどい実行委員会



アプリ「スマホで巡礼2022」では、「祈りの回廊2022春夏版パンフレット」で紹介している各社寺や観光スポットを巡った記録を残すことができます。

スマートフォンにアプリをダウンロードして、社寺や観光スポットを訪問し、アプリを起動すると自動的にチェックインします。

1カ所チェックインすると10ポイントがたまり、50ポイントためた上でアンケートにお答えいただくと、

抽選でオリジナルクリアファイルをプレゼントいたします！

【観光プロモーション課

# 「祈りの回廊」県内の社寺を スマホで巡ってみませんか？



抽選でオリジナルクリアファイルを  
プレゼントいたします！

【観光プロモーション課



祈りの回廊オリジナルクリアファイル

※イラストはイメージです。

**祈りの回廊アプリ  
スマホで巡礼2022**

※ダウンロード無料

※App store [Google play] から  
ダウンロードご利用ください。

開催期間：令和4年3月1日火  
～9月30日(金)

問合せ先：奈良県観光プロモーション課  
074212718482  
平日8時30分～17時15分

祈りの回廊で検索

## 大宮通りジャーナルマップ

平城京天平祭 →P8

光と遊びの天平広場 →P10

ぐるっとバス →裏表紙

みんな芸ピアノ →P8

東大寺 →P2~4

きたまちといろ →P9

なら燈花会 →P5

第33回全国「みどりの愛護」のつどい →P10

ぐれーとさまあーひえすた☆ならまち遊歩 →P9

奈良公園の水環境改善 →P6

吉城園の整備 →P5

奈良公園の植栽整備 →P6

「祈りの回廊」アプリ スマホで巡礼 2022 →P11

平城宮跡史跡指定100周年 →P7

大宮通り

大和西大寺駅

尼ヶ辻駅

都跡小学校

遺構展示館

第一次大極殿

平城宮跡歴史公園

東院庭園

朱雀門

朱雀門ひろば

奈良県コンベンションセンター

海龍王寺

法華寺

不退寺

新大宮駅

奈良中央郵便局

近鉄奈良駅

奈良県立美術館

奈良県庁

興福寺

奈良国立博物館

春日野国際フォーラム 麓～I・RA・KA～

イベント名	開催期間	開催場所	問合せ先	料金
光と遊びの天平広場	8月4日(木)~20日(土)	奈良県コンベンションセンター	光と遊びの天平広場事務局 ☎070-2395-6032	無料 (一部イベント有料)
なら燈花会	8月5日(金)~14日(日)	奈良公園一带	NPO法人なら燈花会の会事務局 ☎0742-21-7515	無料
万灯供養会	8月15日(月)	東大寺大仏殿	東大寺事務所 ☎0742-22-5511	祈願の申し込みをされていない方の入堂は有料
天平たなばた祭り ~平城京天平祭・夏~	8月19日(金)~21日(日)	平城宮跡朱雀門ひろば	平城京天平祭実行委員会 ☎0742-25-0707	無料 (一部飲食・体験は有料)
ならまち遊歩	8月20日(土)~28日(日)	ならまち一带	ならまち遊歩実行委員会事務局 ☎0742-93-5250	無料 (一部イベント有料)
奈良県みんなでのしむ 大芸術祭	9月1日(木)~11月30日(水)	奈良公園バスターミナルと 東大寺ほか、県内各地	奈良県みんなでのしむ 大芸術祭実行委員会事務局 ☎0742-27-8488	無料 (一部有料会場あり)
きたまちという	9月9日(金)~15日(木)	きたまち一带	きたまちという実行委員会事務局 ☎080-1282-9004	無料 (一部イベント有料)
みつきうまし祭り ~平城京天平祭・秋~	10月22日(土)・23日(日)	平城宮跡朱雀門ひろば	平城京天平祭実行委員会 ☎0742-25-0707	無料 (一部飲食・体験は有料)

●掲載されているイベントなどの内容は本ジャーナル発行時点のものです。今般の感染症の流行とそれに伴う社会情勢などを受け、開催が中止・延期・変更となる場合があります。それぞれの問い合わせ先へご確認ください。

**「ぐるっとバス」ルートマップ** 2022年8月時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響により、運行ダイヤを変更する可能性があります。

バス路線	乗車運賃
奈良公園ルート	1乗車 100円 (小学生以上)
大宮通りルート	
若草山麓ルート	

※「ぐるっとバス」の詳しい運行情報やルートについては、  
 <HP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」>をご覧ください。  
<http://www.nara-access-navi.com/>

「ぐるっとバスNAVI」  
 ぐるっとバスの位置情報がリアルタイムで確認できる

大宮通りジャーナル 夏号 (第16号) 2022年8月発行

発行 奈良県  
 編集 県土マネジメント部地域デザイン推進局  
 平城宮跡事業推進室

●各事業に関するお問い合わせ  
 平城宮跡事業推進室 Tel.0742-27-8973 奈良公園室 Tel.0742-27-8036  
 MICE 推進課 Tel.0742-27-8479 文化振興課 Tel.0742-27-8488  
 観光プロモーション課 Tel.0742-27-8482 公園緑地課 Tel.0742-27-7517

観光振興と地域づくりのモデルとして各種プロジェクトが進行している「大宮通り」について、沿道の住民の皆さまや事業者等の関係者様と、課題をともに考え、意見を交換し、共有するためのプラットフォームとして本誌を発行・配布しています。